

写真グラフ

楊 琨

写真グラフ「生きる力」

「100年の夢」(胡锦涛・中国国家主席)を実現した2008年の北京五輪。しかしこの年、中国は未曾有の大地震と暴動に見舞われた。

私は、中日新聞社の北京五輪取材助手を務めるため訪中する機会に恵まれ、華々しい五輪の陰で生きる人たちの姿を撮ることができた。四川省では、大地震の爪あとを取材し、暴動後のチベットでは現場をつぶさに回った。これは、レンズを通して見た四川省とチベット自治区の生々しい記録である。



放火されたラサ商店街に、買い物客が戻った。後ろの商店街の屋根付近に燃えたあとが見える

暴動沈静化後のチベット

3月10日、チベット自治区の首都ラサで、数百人のチベット人僧侶らがチベット独立を要求するデモを展開し、数日後に当局に鎮圧された。北京五輪の開幕直前も警戒は厳重で、軍隊が駐留し、その中を観光客が見物に訪れる光景が見られた。



ラサ市内にあるイスラム教のモスクを警備中の人民解放軍部隊



チベット自治区ラサと青海省西寧を結ぶ青蔵鉄道で輸送された戦車部隊（青海省で）



観光客でにぎわうチベット第2の都市シガツェのタシルンボキ



チベットの首都、ラサのポタラ宮に駐留する人民解放軍

チベット人の生活はふだんと変わりなかった。彼らはヒマラヤ山脈からの風に吹かれて自然の中で暮らしていた。高原民族の純粋な精神力は時空を超えて永遠に生き続けるだろう。



タシルンポ寺の少年僧



「民族大団結」、「北京五輪歓迎」のスローガンが見える（ラサ）



シガツェの寺院の中庭で、休憩する家族連れの参拝者

四川大地震

5月12日、中国四川省でマグニチュード8.0級の地震が発生。道路や電力・水道・通信などライフラインが寸断された。中国政府の7月のまとめでは、四川大地震の死者は少なくとも6万9,197人、負傷者は37万4,176人により、1万8,222人がなお行方不明と発表された。



都江堰市と汶川県を結ぶ基幹高速道路が完全に陥没



全壊し、多数の人命が失われた映秀中学校校舎（四川省汶川県）

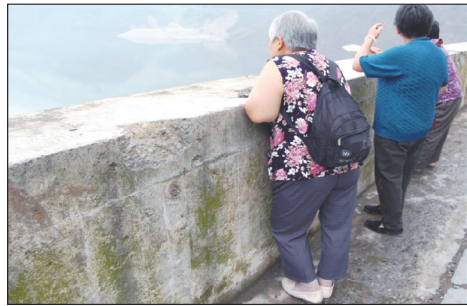


地震で転落した大きな石が運転中の車両に直撃（都江堰市）

大地震後の四川盆地。新生活を始めるための医療、食事、住居、教育、交通など、災害からの早期復興を目指して、人々の活動が展開された。一人一人の努力で、再び夢と希望をもって生きようとする姿が印象的だった。



臨時住居の消毒作業（都江堰市虹口）



余震で倒壊の恐れがある紫坪壩ダムを不安そうに見つめる女性たち（都江堰市紫坪壩鎮）



送電線の修繕も急がれていた（都江堰市虹口）



道路の復旧作業を続ける人たち（四川省汶川県）



テントの露天食堂（都江堰市虹口）